

3

本村さんは、「なぜ図書室を利用する人がふえているのか」について調べ、ほうこくする文章を書こうとしています。次は、【本村さんの考え】と本村さんの【調べたことのメモ】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【本村さんの考え】

図書室を利用する人がふえているのは、図書室に行きたくなくなるようなたくさんのくふうがあるからということが分かったぞ。メモをもとにそのことを友達に伝える文章を書いて、もっと図書室を利用する人をふやしたいな。



本村さん

【調べたことのメモ】

メモ①

〈気づいたこと〉

おすすめの本をしょうかいしているコーナーがある。

くふう 2

〈分かったこと〉

- ・新しく入った本や行事に関係する本を集めてならべている。
- ・本の内ようやおすすめの理由などが書いてある。

〈思ったこと・考えたこと〉

本を読みたいと思うきっかけになる。

メモ②

〈気づいたこと〉

読書カードに記録する。

くふう 3

〈分かったこと〉

- ・1さつ本を借りると、読書カードに1回スタンプをおすことができる。
- ・新しいカードをもらうごとに、色が変わる。

〈思ったこと・考えたこと〉

本をたくさん読もうという気持ちになる。

メモ③

〈気づいたこと〉

図書室でイベントがある。

くふう 1

〈分かったこと〉

- ・毎週金曜日の昼休みにしおりを作る。
- ・毎月1回図書委員会による読み聞かせがある。

〈思ったこと・考えたこと〉

図書室に行くきっかけになる。

【ほうこくする文章】

なぜ図書室を利用する人がふえているのか

一年前とくらべて、図書室を利用している人がふえています。なぜ利用する人がふえているのか調べるため、アと考え、実さいに図書室に行ってみました。調べてみると、みんなが図書室に行きたくなるようなくふうがありました。そのくふうについて、三つほうこくします。

一つ目のくふうは、図書室でのイベントです。例えば、
A それらが、図書室に行くきっかけになります。

二つ目のくふうは、おすすめの本のしょうかいです。例えば、新しく入った本や行事に関係する本をならべたり、本の内ようやおすすめの理由などを書いたりしているコーナーがあります。それらが、本を読むきっかけにつながっています。

三つ目のくふうは、読書カードへの記録イです。例えば、1 ずつ本を借りると読書カードにスタンプを 1 回おすことができたり、新しいカードをもらうごとにカードの色が変わったりします。それらが、本をたくさん読もうという気持ちにつながっています。

このように、図書室には、みんなに利用してもらうためのくふうがたくさんありました。そのことで、図書室の利用がふえていることが分かりました。そして、私たちが図書室を楽しく利用できるのは、図書室の先生や図書委員会ウのみなさんのおかげだと強く感じました。だから、みんなにもっと図書室を利用してほしいと思います。

へじょうけん

○ 【調べたことのメモ】から言葉や文を取り上げて書くこと。

○ 書き出しの言葉に続けて、三十五字以上、五十字以内にまとめること。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

例	え	ば	、	◆					

35字

50字

※ 上は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。かい答は、かい答用紙に書きましょう。

※ ◆の印から横書きで書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

二 本村さんは、【ほうこくする文章】の始めの部分を書いているときに、これまで書きためていたことわざカードの一つが思い浮かび、そのことわざを使いました。ア に入ることわざについて書かれたカードとして最もふさわしいものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 百聞は一見にしかず

(意味) 何度聞くより、一度実さいに自分の目で見るほうがまさること。

2 月とすっぽん

(意味) 二つのものが、形はにいても、くらべられないくらいに差があること。

3 石の上にも三年

(意味) つらくて大変なことでも、しんぼうして続ければ、いつかは成功すること。

4 転ばぬ先のつえ

(意味) 失敗しないように、あらかじめ十分に用心しておくこと。そのような用心が大切だということ。

三 本村さんは、【ほうこくする文章】を友達だけでなく、三・四年生にも読んでもらうために、漢字に読みがなを書くことにしました。

——部イ、ウの漢字の読みがなをひらがなで書きましょう。

三つ目のくふうは、読書カードへの^イ記録
です。

そして、私たちが図書室を楽しく利用できるのは、図書室の先生や図書^ウ委員会のみ
なさんのおかげだと強く感じました。

四 本村さんの【ほうこくする文章】は、調べたことを分かりやすく伝えるために、文章の組み立てがくふうされています。そのくふうの説明として最もふさわしいものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 図書室に行きたくなるくふうを、メモの番号どおりに書いている。
- 2 調べて感じたことを、文章の始めに書いている。
- 3 内よりのまとまりごとに段落^{だん}を分けて書いている。
- 4 調べて分かったことを、一つの段落^{だん}にまとめて書いている。